

介護保険事業の地域特性分析について

1 「地域包括ケア見える化システム」を活用した地域特性分析

「地域包括ケア見える化システム」は、自治体における介護保険事業計画等の策定・実行を総合的に支援するために、厚生労働省から提供されている情報システム。

介護保険に関する情報をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する様々な情報が一元化され、かつグラフ等を用いた見やすい形で提供されている。

また、一部の機能を除いて誰でも利用することができるようになっており、住民も含めた地域の関係者間で、地域の課題や解決に向けた取組を共有できる。

(システム利用の主な目的)

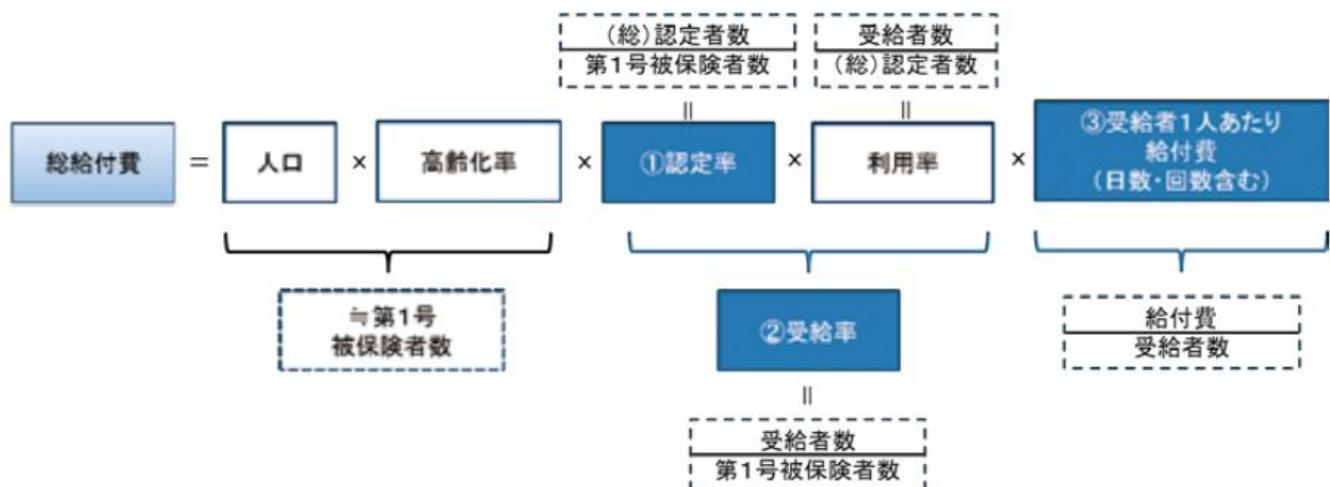
- ・ 地域間比較等による現状分析から、自治体の課題抽出をより容易に実施可能とする。
- ・ 同様の課題を抱える自治体の取組事例等を参照することで、各自治体が自らに適した施策を検討しやすくなる。
- ・ 都道府県、市町村内の関係者全員が一元化された情報を閲覧可能となることで、関係者間の課題意識や互いの検討状況を共有することができ、自治体間・関係部署間の連携が容易になる。

2 比較対象

地域特性分析として、全国平均、福井県平均、隣接市（大野市、鯖江市、坂井市）、近隣中核市（金沢市、富山市）と比較を行う。

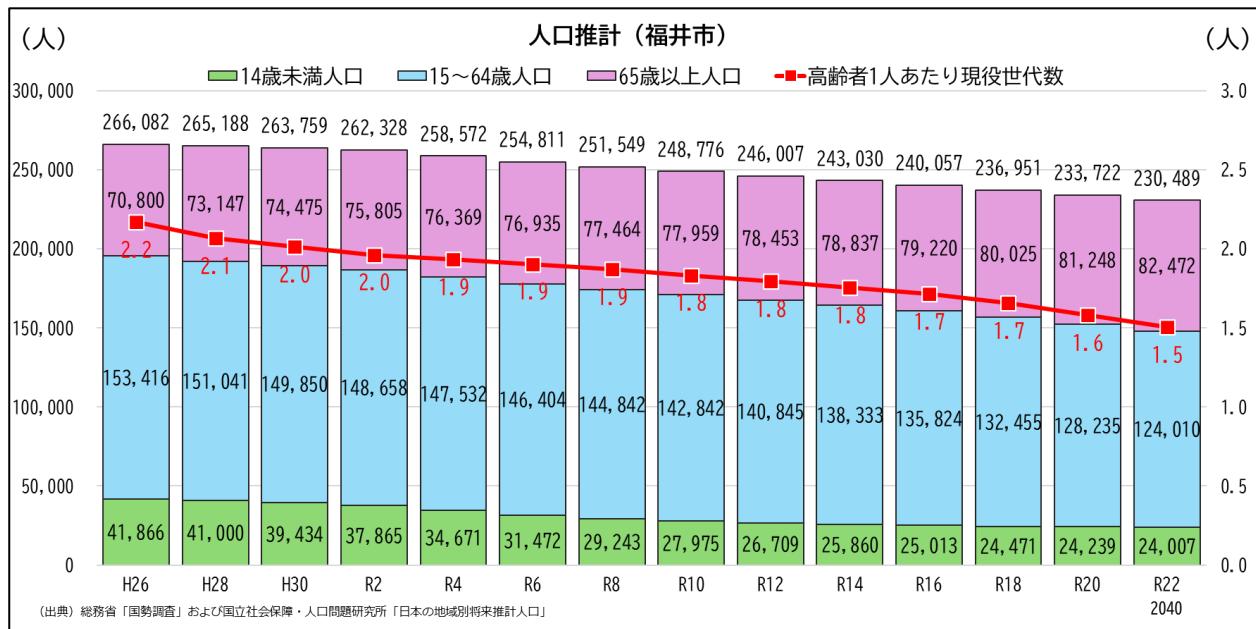
3 分析の観点

給付費を次の要素に分解し、「人口」、「高齢化率」、「認定率」、「受給率」、「受給者1人あたり給付費」について比較し、介護保険施策と関連性の高い「認定率」、「受給率」、「受給者1人あたり給付費」について分析する。

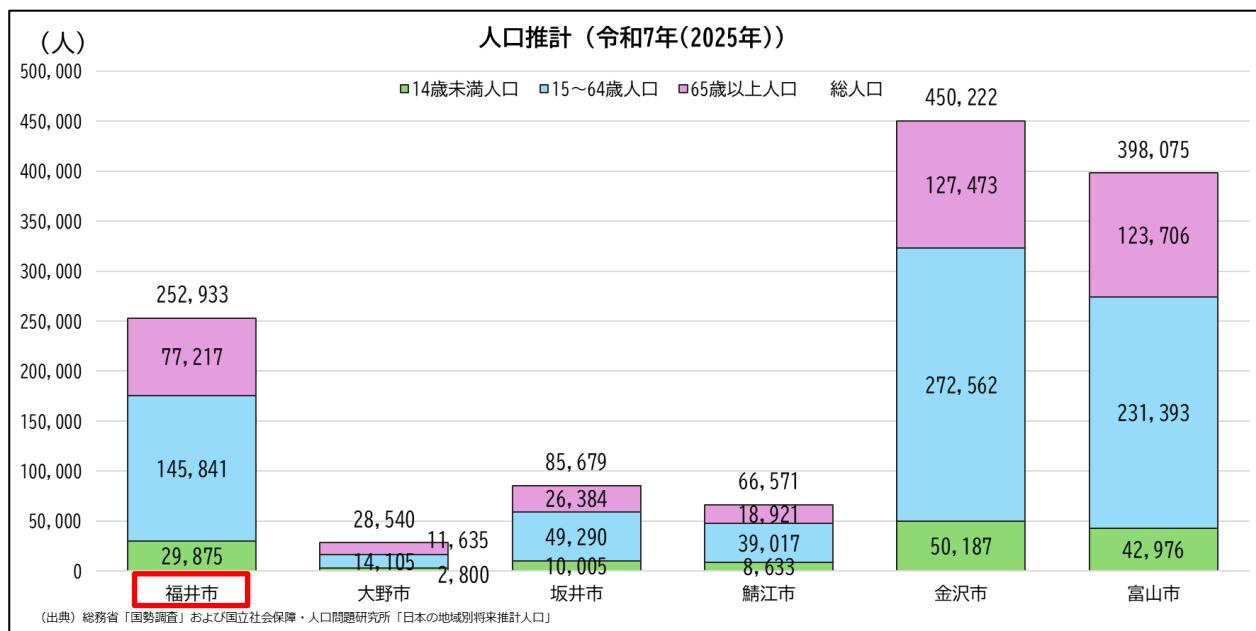


4 本市の地域特性分析

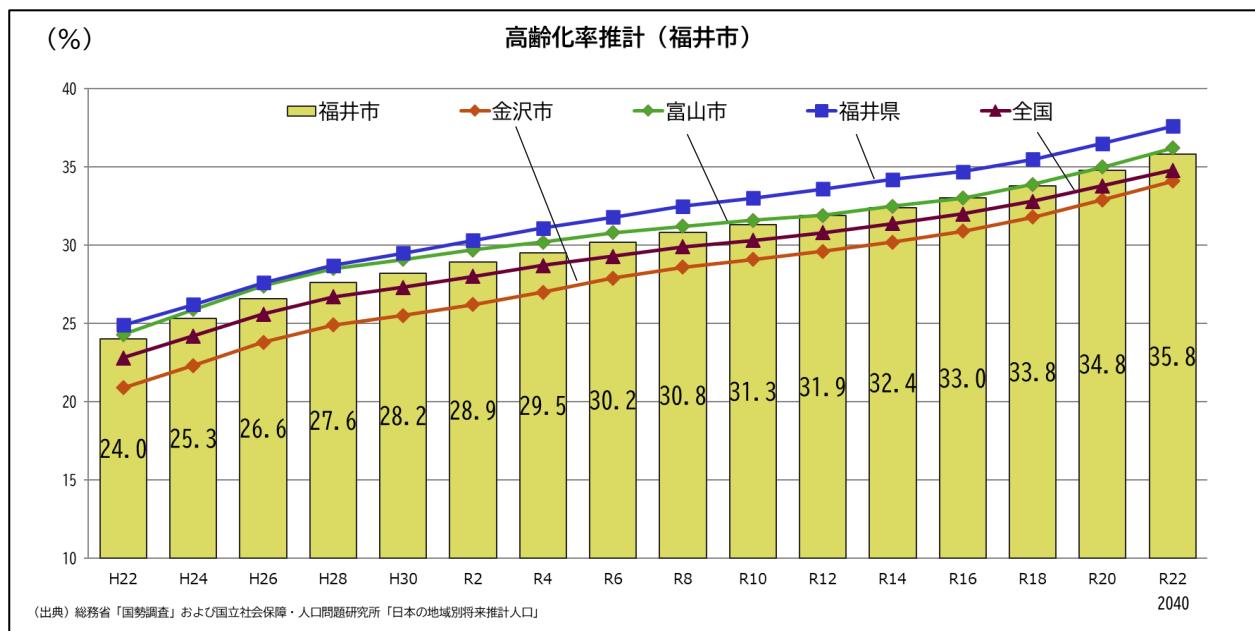
(1) 人口



- 本市の人口は、平成7年度（1995年）の約27万3千人をピークに減少が続いている。見える化システムによる推計では、令和22年度（2040）には約23万人となる。
- 高齢者1人あたりの現役世代数も減少が続いている。高齢者を支える環境は厳しさを増している。



(2) 高齢化率（65歳以上人口／総人口）

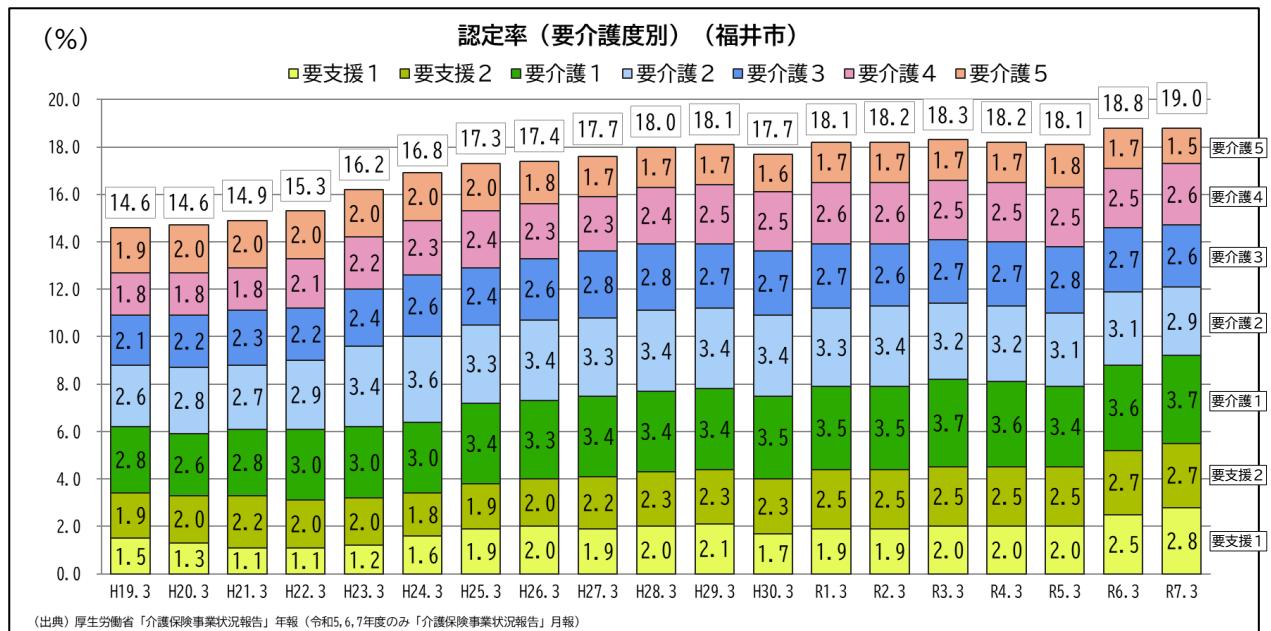


- 本市の高齢化率は、令和6年度（2024年）に30%を超え、令和22年度（2040年）には、35%を超える推計となる。
- 今後、全国平均以上、福井県平均以下、富山市と同程度の推移が予想される。

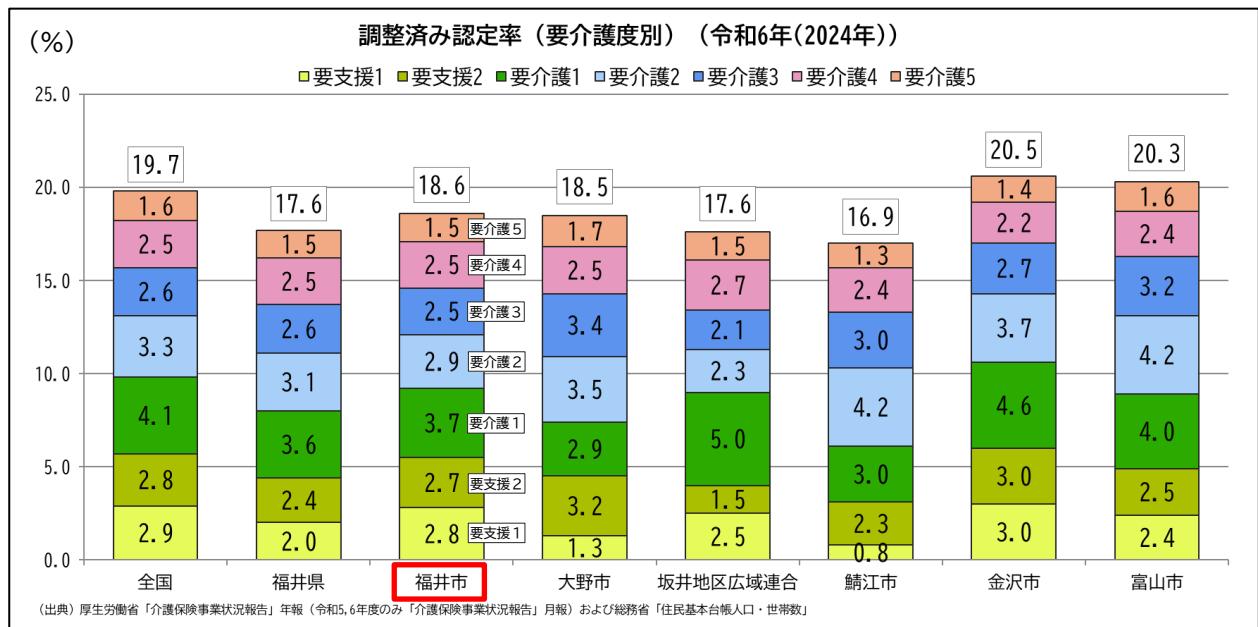


- 高齢化率について、近隣市との比較では、大野市が非常に高く、坂井市と同程度、鯖江市が最も低い状態にある。

(3) 要介護（要支援）認定率（認定者数／第1号被保険者数）



- 本市の認定率は、近年横ばいとなっていたが、令和5年度から再び上昇している。
- 軽度認定率の上昇がみられ、コロナ禍で利用を控えていた方の認定や、事業対象者に更新期限を設けたことで介護保険認定を受ける方が増加したと考えられる。



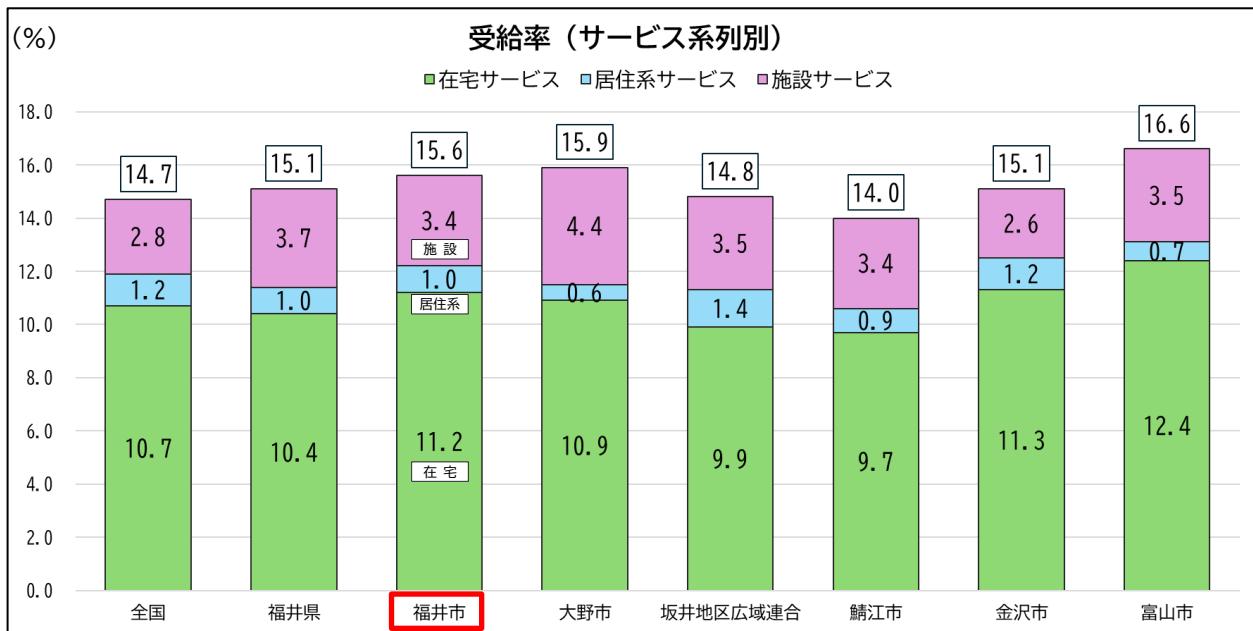
調整済み認定率 「認定率」を基に第1号被保険者の性別・年齢構成を一定として調整を行い、「認定率」の地域間・時系列の比較をするために用いられる指標

- 全国平均と比較し、要介護1・2で認定率が低く、その他は同程度にある。

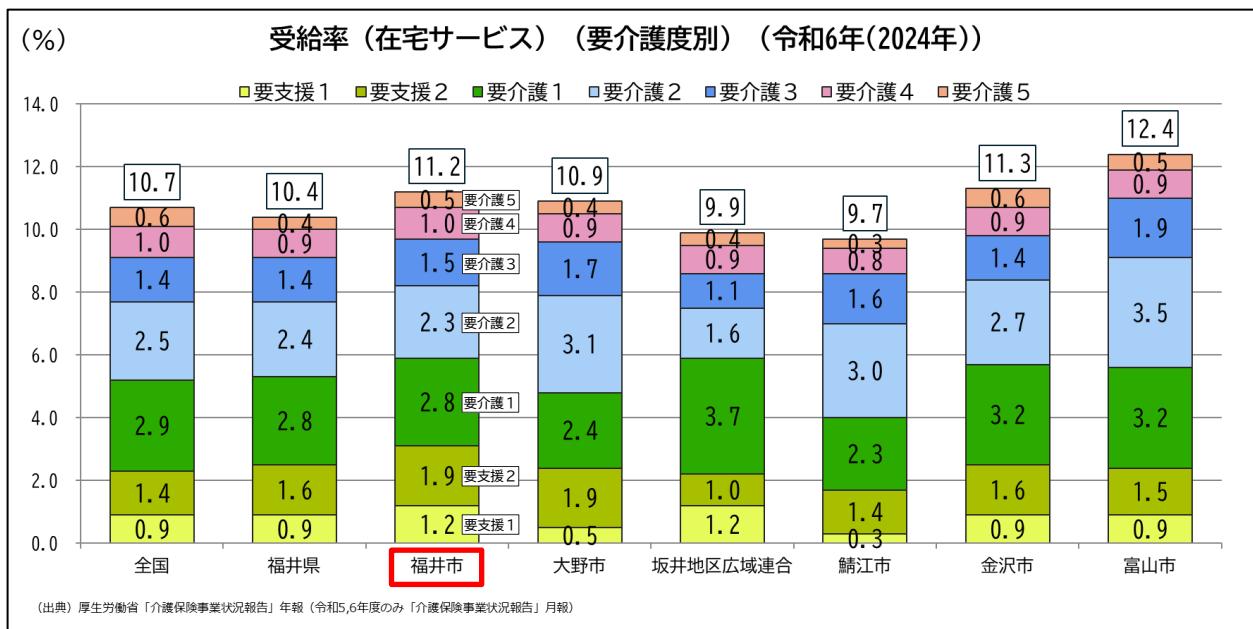
（要因分析）

- 「いきいき長寿よろず茶屋」「いきいき百歳体操」などの住民主体の活動や一般介護予防事業、総合事業の活用などが軽度者の維持・改善につながり、認定率が低い状態になっていると考えられる。

(4) 受給率（受給者数／第1号被保険者数）



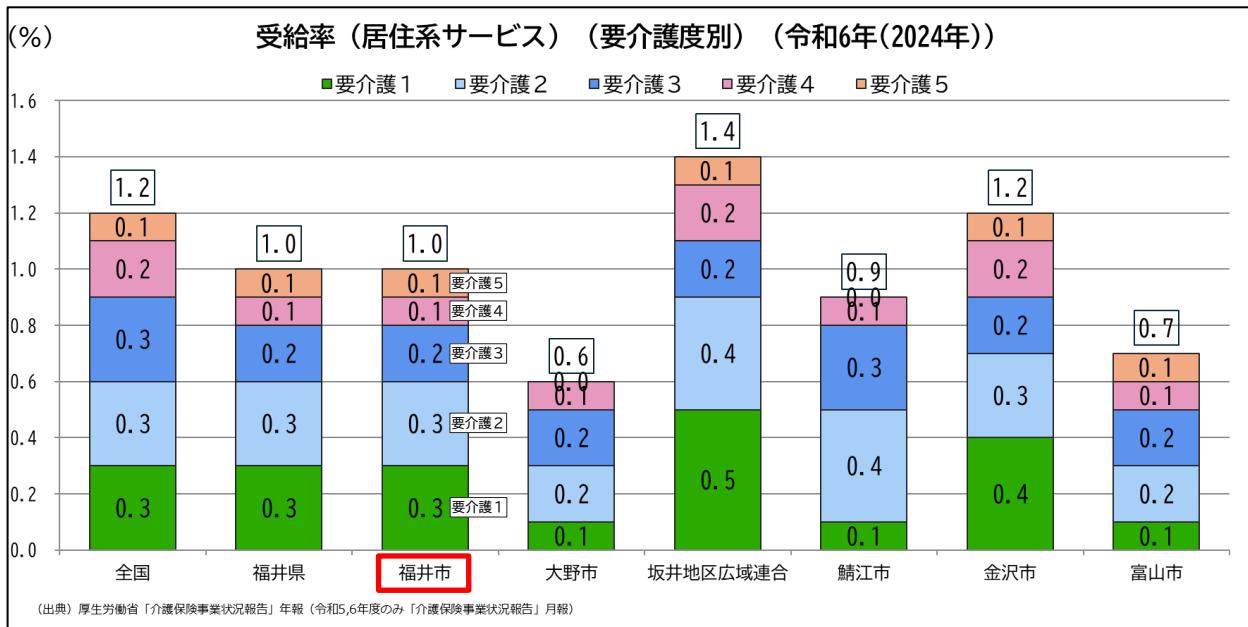
- ・全国平均、福井県平均を上回っており、特に在宅サービスの受給率が高く、介護や支援を受けて自宅での生活を継続する傾向がみられる。



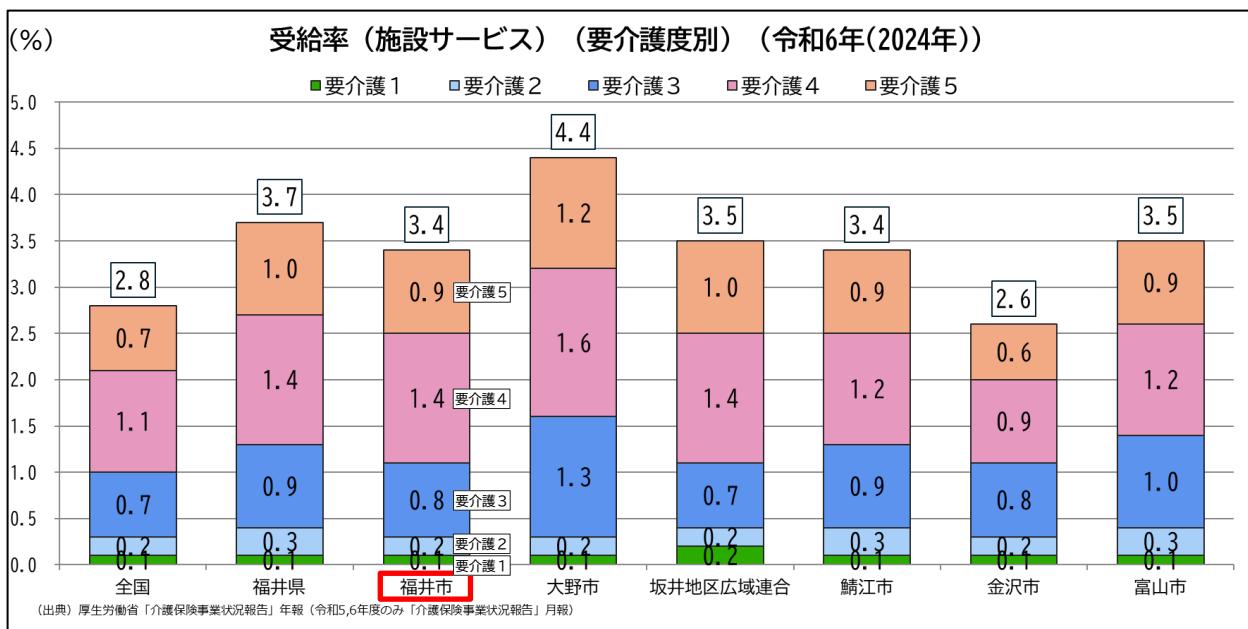
在宅サービス

訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与、福祉用具購入費、住宅改修費、介護予防支援・居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

- ・全国平均のほか近隣中核市と比較しても要支援者の受給率が高く、総合事業など早期の維持・改善に取り組まれている状態にある。



居住系サービス 特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護



施設サービス 介護老人福祉施設、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院

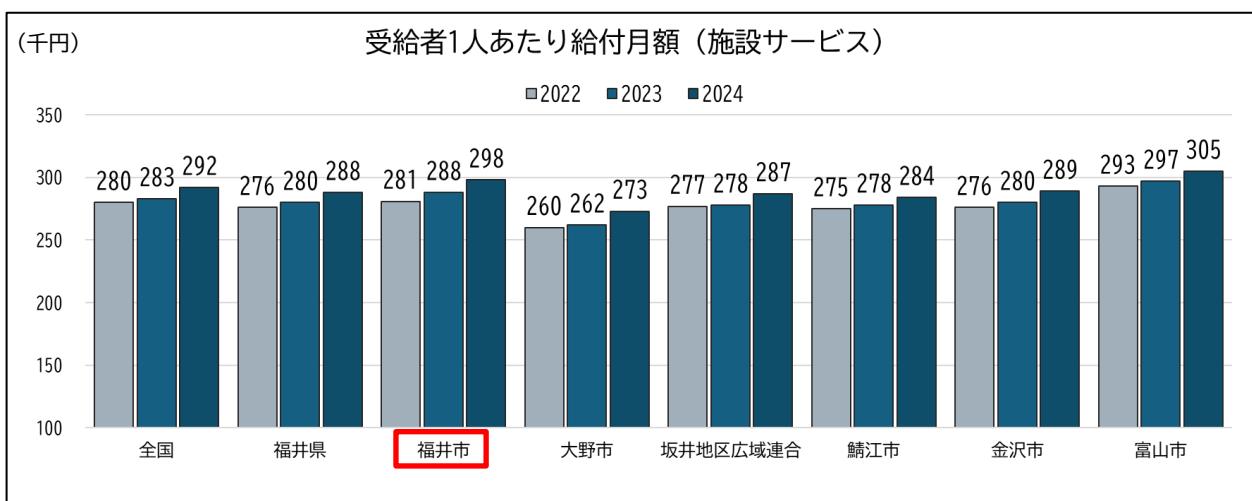
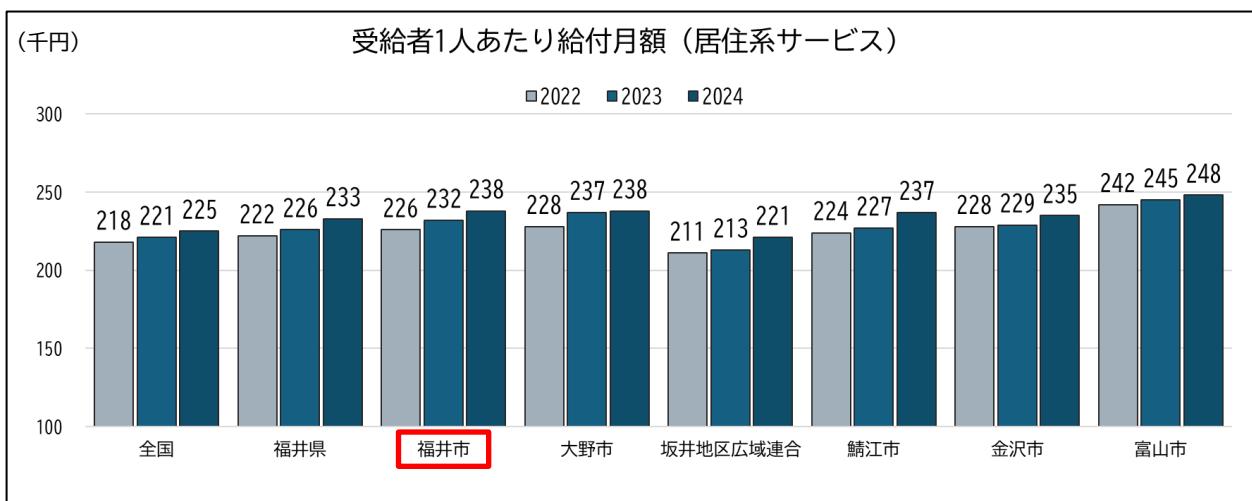
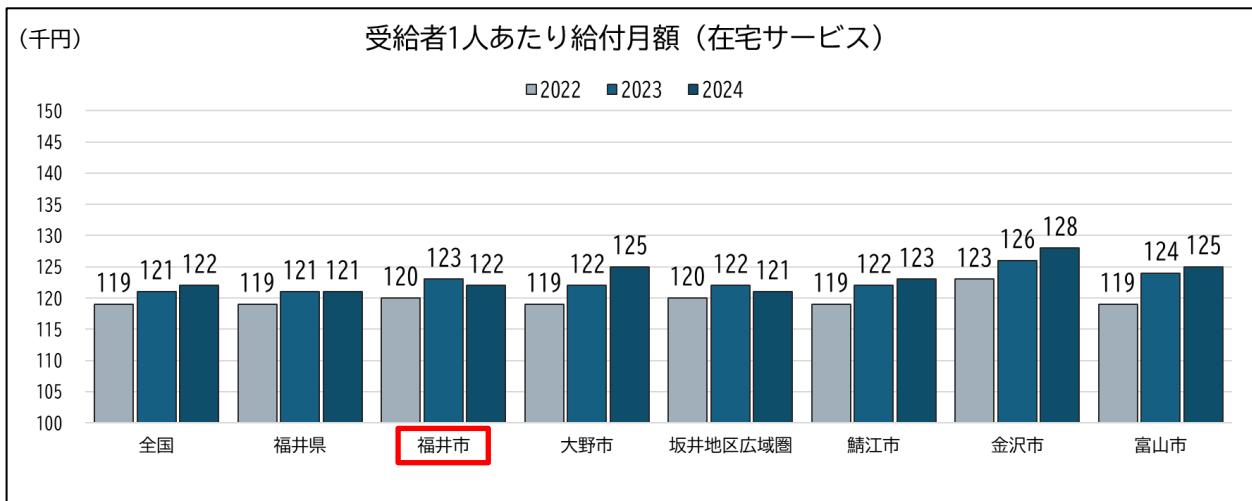
- ・全国平均と比較し、居住系サービスの受給率が低く、施設サービスの受給率が高い。

（要因分析）

- ・認定率は全国平均を下回る一方、受給率は全国平均を上回ることから、認定者の利用率が高く、サービスを利用しやすい環境にあり、ケアマネジャーにより希望するサービスにつなげられていると考えられる。
- ・サービス選択の地域特性として、軽介護者は在宅サービスを利用し、介護度が高くなつたときに居住系サービスより施設への入所を選択する傾向が強い。

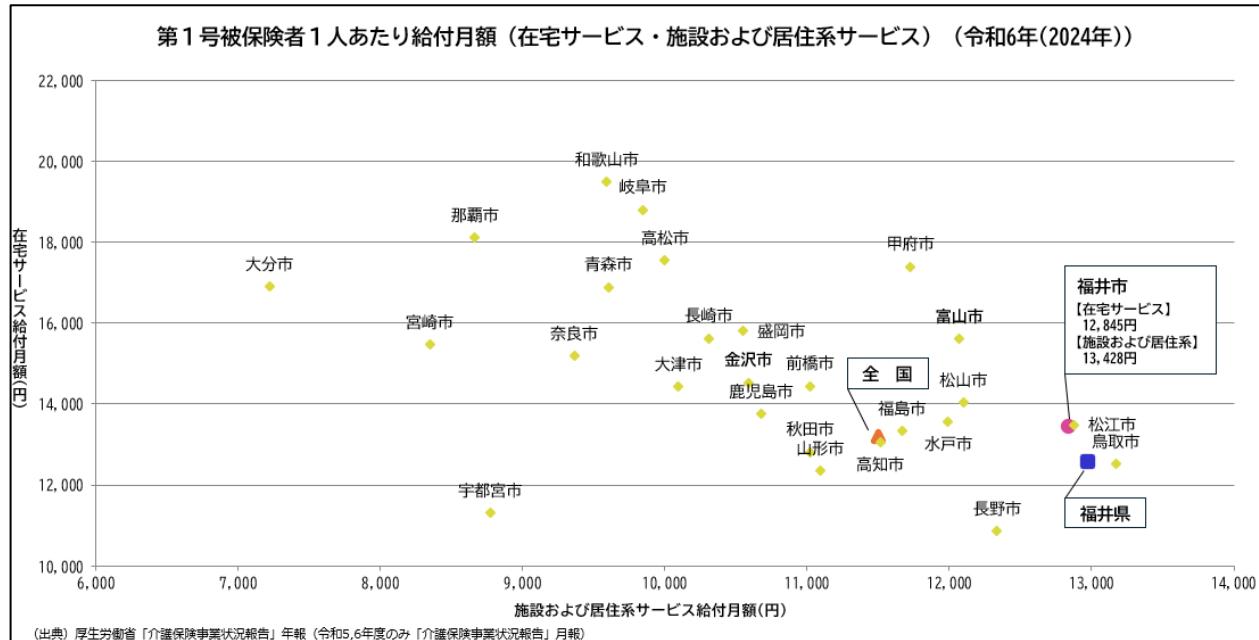
(5) 介護給付費

① 受給者 1人あたり給付月額（サービス給付費の総額／同サービスの受給者数の総和）



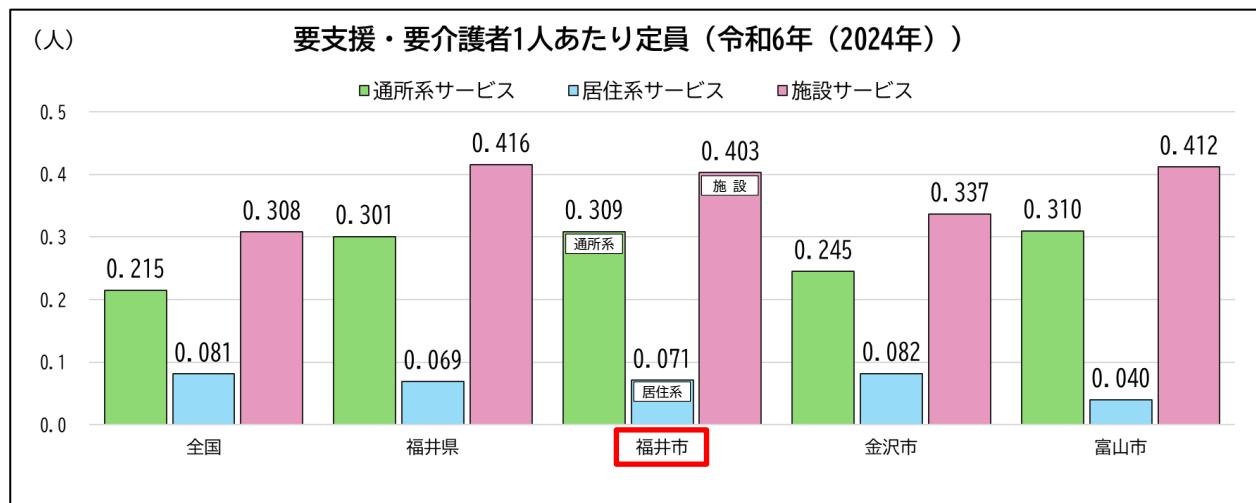
- ・在宅サービスは全国平均と同程度にあるが、居住系サービス、施設サービスについて、全国平均を上回っている。
- ・介護職員等処遇改善加算などへの取組みにより、全国同様、給付月額が上昇している。

② 第1号被保険者 1人あたり給付月額（サービス給付費の総額／第1号被保険者数）



- 他の中核市と比較しても「1人あたりの施設および居住系サービス給付月額」が大きい状態にある。

③ 要支援・要介護者 1人あたり定員（定員数の総数／要支援・要介護認定者数）



（要因分析）

- 福井市は、「要支援・要介護者 1人あたりの定員」が比較的充実しており、待機者の発生する傾向が高い施設サービスが全国平均を上回っていることが、介護給付費にも反映されていると考えられる。

【福井市】第1号被保険者1人あたり給付月額（各サービスの給付費総額／第1号被保険者数）

サービス名		R 4	R 5	R 6	R 6全国	R 6県
介護老人福祉施設	(円)	4,728	4,815	4,946	4,457	5,181
介護老人保健施設	(円)	3,224	3,200	3,265	2,867	3,502
介護医療院	(円)	336	428	425	513	591
介護療養型医療施設	(円)	50	53	3	2	1
地域密着型介護老人福祉施設	(円)	1,520	1,589	1,684	537	1,289
訪問介護	(円)	926	1,015	1,190	2,463	1,012
訪問入浴介護	(円)	25	25	20	115	32
訪問看護	(円)	765	761	786	910	722
訪問リハビリテーション	(円)	61	59	56	141	72
居宅療養管理指導	(円)	88	89	96	414	69
通所介護	(円)	2,938	3,053	2,952	2,748	3,233
通所リハビリテーション	(円)	1,448	1,475	1,504	972	1,137
短期入所生活介護	(円)	1,479	1,558	1,594	890	1,343
短期入所療養介護	(円)	92	101	119	102	121
福祉用具貸与	(円)	814	822	853	922	857
特定福祉用具販売	(円)	29	30	34	40	35
住宅改修	(円)	56	58	55	85	66
特定施設入居者生活介護	(円)	795	778	770	1,464	831
介護予防支援・居宅介護支援	(円)	1,218	1,236	1,279	1,382	1,222
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(円)	76	86	69	200	93
認知症対応型通所介護	(円)	364	356	362	155	336
小規模多機能型居宅介護	(円)	1,412	1,361	1,416	608	1,271
認知症対応型共同生活介護	(円)	1,573	1,668	1,752	1,614	1,574
看護小規模多機能型居宅介護	(円)	361	364	359	166	393
地域密着型通所介護	(円)	749	675	683	862	522

【福井市】受給者1人あたり利用日数・回数(各サービスの利用日数・回数の総数／同サービスの受給者数の総和)

サービス名		R 4	R 5	R 6	R 6全国	R 6県
訪問介護	(回)	18.0	19.5	22.4	28.4	19.6
訪問入浴介護	(回)	4.0	3.9	4.1	4.9	4.3
訪問看護	(回)	7.8	7.9	7.8	9.0	7.9
訪問リハビリテーション	(回)	10.7	10.7	9.9	11.7	11.0
通所介護	(日)	11.0	11.2	11.1	10.7	10.8
通所リハビリテーション	(日)	6.4	6.7	6.3	5.6	6.2
短期入所生活介護	(日)	16.6	16.1	15.9	12.3	13.4
短期入所療養介護	(日)	9.5	9.0	8.1	7.8	7.8
認知症対応型通所介護	(日)	11.5	11.8	11.9	10.6	11.6
地域密着型通所介護	(回)	11.2	11.1	11.0	9.2	10.5

・個別のサービスについて全国平均と比較すると、在宅サービスのうち、訪問系サービスと通所系サービスでは、通所系サービスが利用される傾向にある。